

患者さんへの説明文書

研究課題名

全自動化学発光酵素免疫測定装置(ルミパルスシステム)専用 PIVKA-Ⅱ測定試薬の性能評価

PIVKA-Ⅱは肝臓でつくられた異常タンパクの一種です。PIVKA-Ⅱは肝臓癌などで血液中の量が増えるため、腫瘍マーカーとして検査されます。また、当院においては、肝臓移植の適応基準の1つとなる重要な検査です。

このたび、PIVKA-Ⅱ検査用の試薬の性能をあげるための改良が行われました。われわれは、この改良の結果、従来品よりどのように性能が良くなっているのかの研究を実施しています。

研究のための検体は、京都大学医学部附属病院へ検査依頼された残りの血液を使用します。また、使用時には名前や個人情報が特定できない別の容器へ移してから使用します。

この研究は、富士レビオ株式会社の協力を得て、その研究費を用いて2015年12月末まで実施する予定です。患者さんに費用を負担していただいたり、謝礼をすることはありません。研究に使用する血液は、患者さんの検査依頼のあった残りの血液を使用します。ただし、使用に関しては名前や個人情報のない容器に移してから、研究に使用しますので、誰の血液であるかは、わからないようにして個人情報を保護しています。PIVKA-Ⅱの精密測定を行うために、血液の一部を株式会社富士レビオに送付してそこで測定を行います。この場合も個人情報のない容器に移した血液を用いますので、だれの血液であるかわからないようにして個人情報を保護しています。

また、この研究について、ご質問がある場合も、ご相談ください。

京都大学医学部附属病院 検査部
担当 西山有紀子
TEL075-751-3490